一般社団法人 日本看護技術学会
技術研究成果検討委員会・研究活動推進委員会　主催

全国キャラバン研修会報告

ジェネラルナースの技術力を高めよう

エビデンスに基づく排泄援助の技

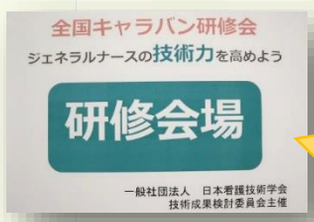
日 時：2020年1月25日(土)10：00～16：00
会場：人間環境大学　大府キャンパス(愛知県大府市江橋町3－220)
JR大府駅

2019年度全国キャラバン研修会が開催されました。今回は、排泄の中でも排便に焦点を当て、自然排便を促進する技術である温罨法、侵襲を伴う技術である浣腸や摘便について、エビデンスに基づいた知識、技術修得のための演習が行われました。

講　師：[浣腸班]　武田　利明　(岩手県立大学)、吉田 みつ子(日本赤十字看護大学)大久保 暢子(聖路加国際大学)、栗田　愛 (人間環境大学)
[温罨法班]：縄 秀志　(聖路加国際大学)、塚越 みどり (横浜市立大学)、加藤　京里　(静岡県立大学)、加藤木 真史(聖路加国際大学)、菱沼　典子　(三重県立看護大学)
研究活動推進委員：佐々木新介(岡山県立大学)、伊部亜紀(敦賀市立看護大学)

1日のスケジュール

- 10時
  - 開会の挨拶(武田理事長)
  - 全国キャラバン研修会の趣旨について(大久保委員長)
- 10時20分
  - 講義：グリセリン浣腸のエビデンス
  - 講義：温罨法のエビデンス
- 12時50分
  - 演習(2班に分かれ①②を各70分実施)
    ①浣腸班演習：浣腸と摘便の技術
    ②温罨法班演習：温罨法の技術
- 15時25分
  - 質疑応答・意見交換
- 15時45分
  - 修了証授与・記念撮影・閉会の挨拶
  - 解散



研修会場は、人間環境大学の講義室、実習室を使わせていただきました。

武田先生からの挨拶と講義の様子

演習必要物品の数々

全国キャラバン研修会の風景

大久保委員長からキャラバン隊の説明と、講義・演習の様子

浣腸の有害事象についての講義を受けた後、浣腸との併用に危険性のある
摘便の技術をモデルを使って体験しました。

「腰背部温罨法の技術とその効果」を参加者同士で体験しました。

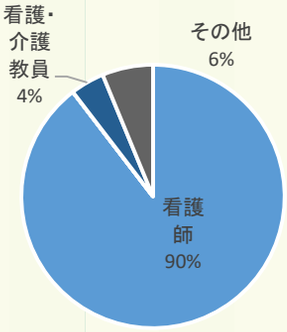
本会より修了証が授与されました。最後に記念撮影をしました。
みなさんお疲れさまでした。

全国キャラバン研修会アンケート結果

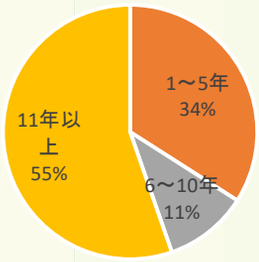
参加者からの本研修会に関するアンケートの集計結果を以下に示します。
なお研修会参加者47名、アンケート回収数は47件（回答率100%）でした。

参加者の属性

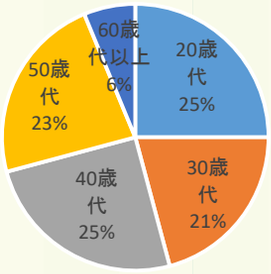
参加者の職種



参加者の現場での経験年数

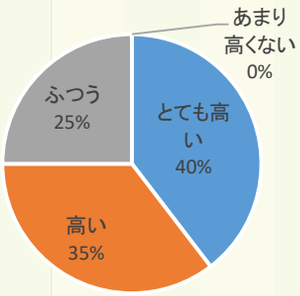


参加者の年齢

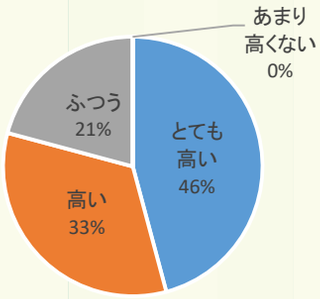


看護技術への関心

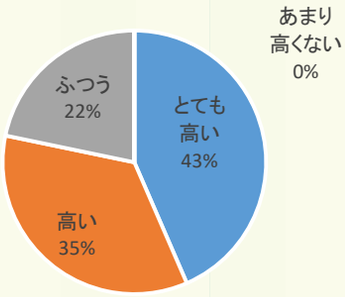
グリセリン浣腸への関心



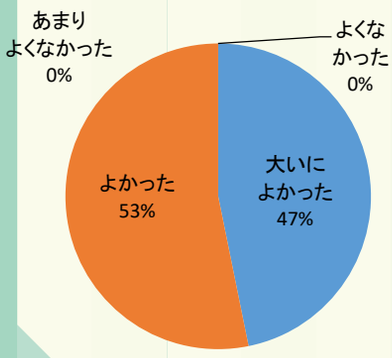
摘便への関心



温罨法への関心



1.本研修会の内容はいかがでしたか



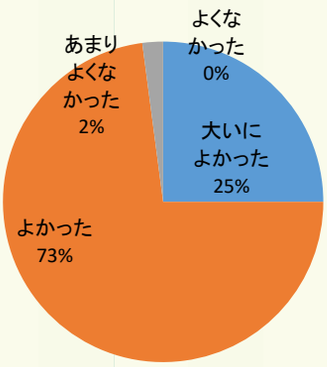
1.本研修内容はいかがでしたかの自由記載	（人）
日常手順の振返り、より細やかに、援助方法を知ることができた	17
・普段流れとして行っていることを立ち止まって考える機会になりました	
・GEや摘便を施行する際のリスクの高さ、事故を起こさない為に注意することが学べてよかった	
実際に体験できて、演習で効果が実感できた	2
エビデンスを学べて良かった	1
資料がみえにくかった	1
とても危険で高度な技術ということがわかりました	1

アンケート結果から、全体的に研修会への満足度は高く、援助方法を細やかに参加者にお伝え出来たのが良かったように思います。

スクリーン映像や配布資料の見やすさについては、今後留意していきたいと思います。

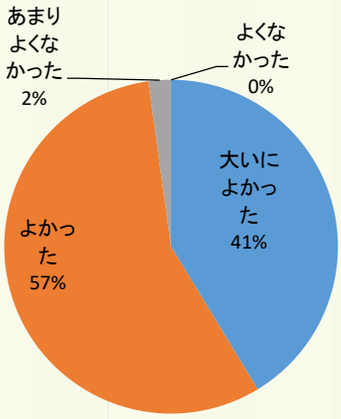
全国キャラバン研修会アンケート結果

2　構成、時間配分はいかがでしたか



2.構成、時間配分についての自由記載	（人）
実践で来て良かった、わかりやすい、演習を取り入れていて良かった	10
・講義を基に演習できたので、より理解できた、細かめに休憩もあり、集中を切らさずに受けられた	
・講義内容も分かり易く、演習は初めての経験で良かったです	
・テンポよく進み、内容も分かりやすかった	
演習時間を多くしてほしい	2
資料が欲しかった(パワーポイントの資料)	2
パワーポイントが見にくかった	1
講義時スライドと配布資料の一貫性があると聴きやすい	1
研修の組み立て方の参考にしたい	1

3 「エビデンスに基づく排泄援助の技」のテーマ内容はいかがでしたか



3 「エビデンスに基づく排泄援助の技」のテーマ内容に関する自由記載	（人）
リスクの知識、ケアの意味づけが実感できた	17
・問題のある事項、また良いとされる根拠がちゃんと出ていて勉強になりました	
・問題のある事項、また良いとされる根拠がちゃんと出ていて勉強になりました実践しやすい、　よく行われる手技であるので、大変興味深い内容だったと思います	
・技術だけでなく、有害事象など理解できた。浣腸・摘便・温罨法を組み合わせて患者により良い方法でやっていきたいと思う	
日頃、毎日のように使っている浣腸について使い方を考えさせられました	2
エビデンスを知れてよかった	2
事例、研究論文を用いているため、良かった	1
実技を体験できて良かった	1

4　今後研修で取り上げてほしい内容	（人）
腹部マッサージの技術	4
排便・排尿コントロール	4
嚥下障害	2
ポジショニング、フットケア、経管栄養、採血、ターミナルケア、	1
吸引、行動援助の技、チャートを使用しながらアセスメントしたい	1
精神障害、小児、褥瘡や創傷の処置、スキンケア	1

キャラバン隊は会員の皆様とより近い距離で接し、日ごろの看護技術の振り返り、根拠に基づいた実践方法をお伝えできればと考えています。

アンケート結果から、今回の研修ではその目的が達成できたようで嬉しく思います。今後、このキャラバン隊を継続していきますので、ぜひご参加いただければ幸いです。

一般社団法人 日本看護技術学会
技術研究成果検討委員会・研究活動推進委員会